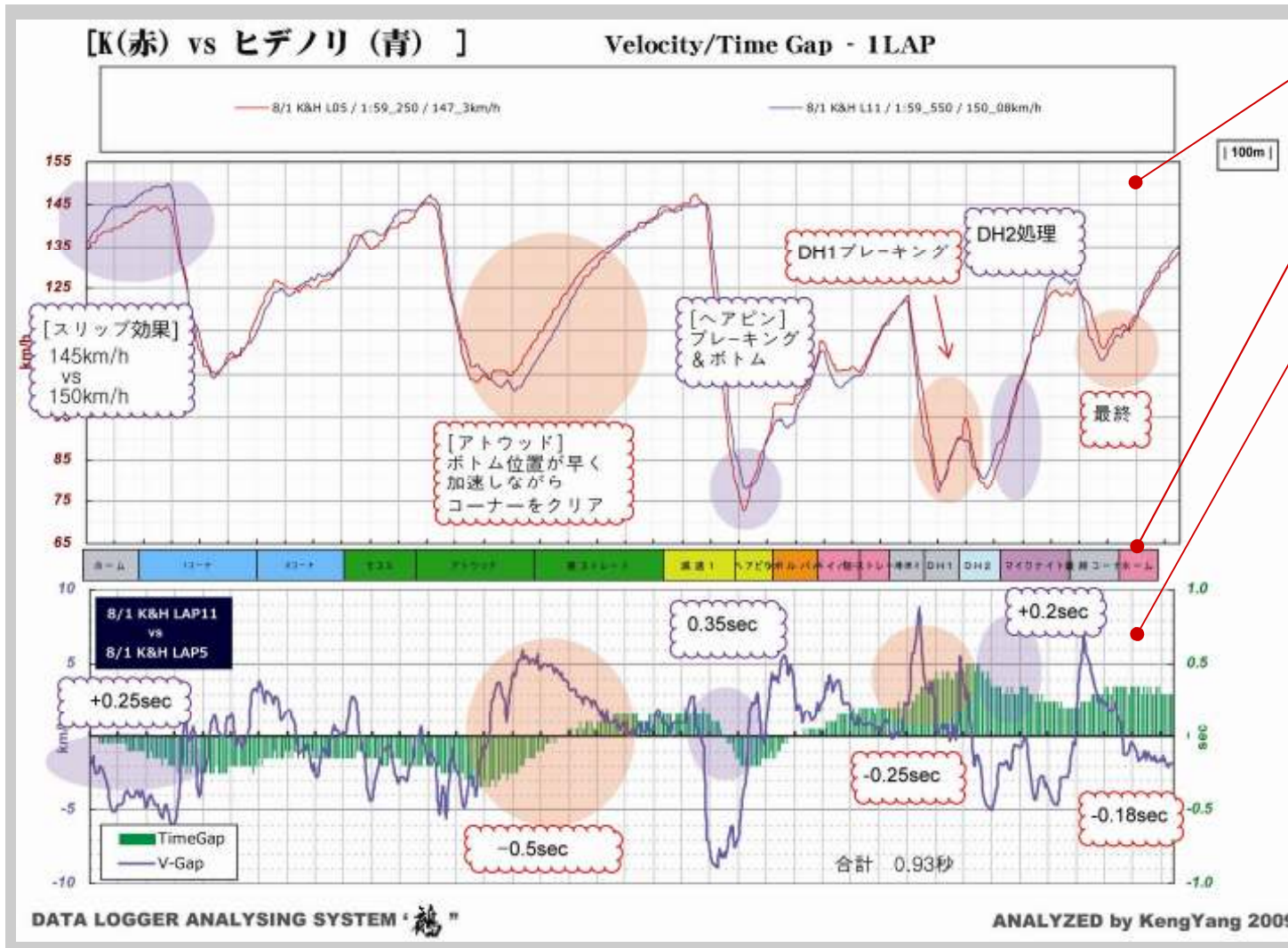


### ロガーデータ 1-LAP 比較グラフ -2つの異なる走行データをコース上の同位置で比較-

ライダー vs ライダー、マシンセッティングやライディングの変更前後のロガーデータを、時間経過ではなく、コース上の同じポイントに合わせた比較グラフを作成。  
『速度グラフ』と『速度差/タイム差グラフ』を解析することで2つのデータの相違点を明確に把握でき、安全で効率的なタイムアップにつなげることができます。



#### 速度グラフ:

2つのロガーデータの速度グラフを作成。  
ブレーキングポイント、ボトム位置(アベックス)速度や、アクセル操作、最高速等の比較を行うことが可能です。

#### コース位置:

コース上の位置情報を表示。1目盛は100mです。(拡大)  
(画像は岡山国際サーキットのコース位置)

#### 速度差/タイム差グラフ:

コース上の位置ポイントで測定した速度差(青折線)と、2つのロガーデータの累積されたタイム差(緑棒線)を表示。  
2つのデータの『何がどう違うのか』を分かりやすく検証できるグラフです。

#### 任意のセクションタイム計測も可能

様々なサーキット/特設コースにも対応



磁気マーカーが埋め込まれていないミニバイクコース/カートコースや、ジムカーナなどサーキット以外のパイロンコースなどでも、複数の赤外線マーカーを使用してセクションタイムの計測が可能。



自分の走り慣れたあのコースで、1大会限りの特別なコースで、今まで区間別のタイム計測を諦めていたコースでも詳細な走りの分析を行うことができます。

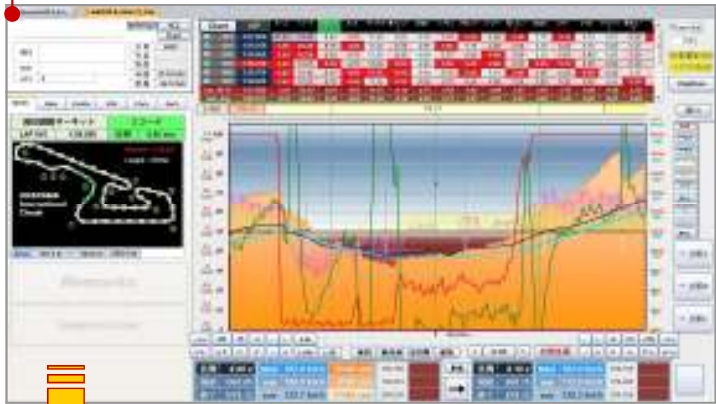


### 詳細解析グラフ - 貴重な走行データを詳細に分析 -

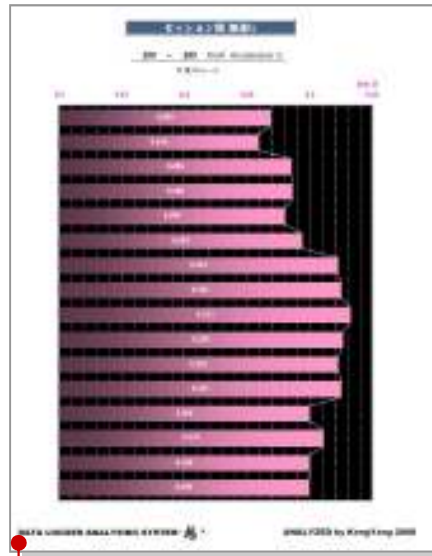
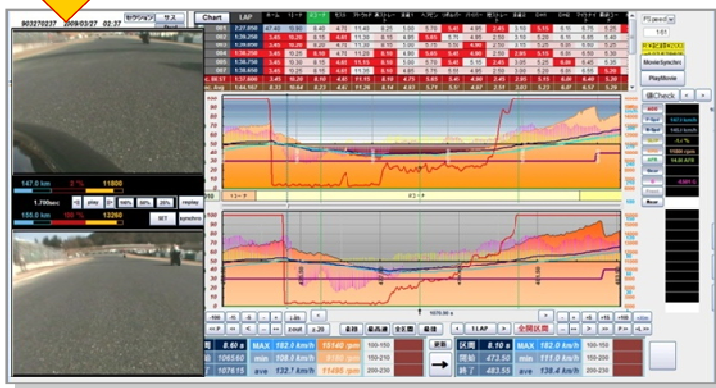
ライダーの感覚や記憶だけでは伝えきれないマシンからの膨大で貴重な『メッセージ』を、各種センサを駆使しグラフ化。ライダーはもとよりメカニック/チームスタッフにも情報を共有できる、『分かりやすい』解析データの作成を行います。さらに、オンボード映像との同期連動でより臨場感のあるデータ解析を行うことや、加速G、空燃比、前後サスペンションのストローク量など、特定の箇所をピックアップしてあらゆる角度から解析グラフを作成することも可能です。

#### セクション解析グラフ：

速度、回転数、前後輪の回転速度、空燃比、前後サスペンションのストローク量、加速/減速G、シフトタイミングを表示。  
1lapの走行データをコース全体から、各セクションから、また、2つのlapを同時に比較しながら、詳細な走行データの解析を行います。



オンボード映像との連動で、ライダー以外のスタッフとも走行時の状況をリアルに共有することができます。



#### セッション別加速G (出力) グラフ：

メイン/バックストレート走行時の加速Gをセッション別に比較表示。  
エンジンの燃調や設定変更をセッションごとに行った際に、確実に出力の大きなセッティングを見つけ出す事ができます。

#### サスペンション解析グラフ：

前後サスペンションのストローク量と、車体の前後姿勢の状態をグラフ化。  
減速開始、終了、倒し込み開始、クリップ通過のピンポイントを指摘し、サスペンションとマシンの挙動を確認することで足回りセッティングの指針となります。



#### 回転数/アクセル開度/空燃比表：

エンジンマネジメントに欠かせない空燃比データを縦軸をアクセル開度(%)、横軸を回転数(rpm)とし、マトリックス表を作成。燃調セッティング時に大幅な時間短縮を図ることのできる実戦的データです。

